

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●ジャパンカップはヴェラアズールがG I 初挑戦初制覇

11月27日(日)に行われたジャパンカップ(G I)ではヴェラアズール(牡5歳/栗東・渡辺薫彦厩舎)が優勝、G I 初挑戦初制覇を果たしました。

### ●松山弘平騎手と藤岡佑介騎手が通算1万1000回騎乗を達成

11月26日(土)の5回阪神7日・第8レースでヨーデルに騎乗した松山弘平騎手(栗東・フリー)は、史上41人目、現役では27人目となるJRA通算1万1000回騎乗を達成しました。デビューから13年8か月26日・32歳8か月26日での達成で、これは北村宏司騎手の14年11か月13日・33歳6か月26日を更新する史上最速・最年少記録となります。また翌27日(日)の5回阪神8日・第11レースとして行われたカノープスSでヴィアメントに騎乗した藤岡佑介騎手(栗東・フリー)も、史上42人目・現役28人目となるJRA通算1万1000回騎乗を達成しました。

### ●C.ルメール騎手がJRA年間100勝を達成

11月27日(日)の5回東京8日・第9レースとして行われたオリエンタル賞ではスパイダーゴールドが1着となり、同馬に騎乗したクリストフルメール騎手(栗東・フリー)は、本年5人目、自身にとっては8年連続8回目となるJRA年間100勝を達成しました。

### ●重賞ウイナー3頭の競走馬登録抹消

2017年報知杯弥生賞(G II)などの勝ち馬カデナ(牡8歳/栗東・中竹和也厩舎/JRA通算42戦4勝)、2018年京都新聞杯(G II)や2022年ドバイゴールドカップ(UAE・G 2)などの勝ち馬ステイフーリッシュ(牡7歳/栗東・矢作芳人厩舎/JRA通算29戦2勝・海外5戦2勝)、2020年日刊スポーツ賞シンザン記念(G III)の勝ち馬サンクチュエール(牝5歳/美浦・田中博康厩舎/JRA通算成績16戦2勝)は、11月2日(水)までに競走馬登録を抹消されました。カデナは北海道新ひだか町のアロースタッドで種牡馬、ステイフーリッシュは北海道千歳市の社台ファームで乗馬となり、サンクチュエールは繁殖馬となる予定ですが行き先は未定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●テリオスベルがクイーン賞(船橋)で重賞初制覇

クイーン賞(Jpn III、11月30日、船橋、1800<sup>円</sup>)は、序盤中頃から2コーナー手前で先頭を奪った3番人気のテリオスベル(江田照男騎手、牝5歳、父キズナ)が、2番人気のグランプリッジに2馬身差を付けて逃げ込みました。1番人気に推されたショウナンナデシコは更に7馬身遅れの3着、ホウオウピースフルが4着に入り、4頭出走したJRA所属馬が上位を独占しています。

### ●平和賞(船橋)は北海道のブルタオルネ【各地の主要2歳重賞】

平和賞(10月26日、船橋、1600<sup>円</sup>)は、3~4番手を進んだ5番人気の北海道からの遠征馬ブルタオルネ(牡、父リアルインパクト)が残り50<sup>円</sup>で差し切りました。南部駒賞(10月16日、盛岡、1600<sup>円</sup>)は、先手を取った2番人気の北海道所属馬エイシンケブラー(牡、父エイシンヒカリ)が逃げ切り勝ち。金沢シンデレラC(10月18日、金沢、1500<sup>円</sup>、牝馬)は、5番手前後から差を詰めたショウガタツブリ(父エスポワールシチー)が直線入口で抜け出し、単勝1.4倍の支持に応じてデビュー以来の連勝を伸ばしています。

### ●クリンチャーらが出走、12月8日の名古屋グランプリ(名古屋)

名古屋グランプリ(Jpn II、12月8日、名古屋、2100<sup>円</sup>)は、57<sup>歳</sup>でもクリンチャーが最有力、以下ベイシャエス、ケイアイパープル、ラーゴム、ヴァンヤールまでが争覇圏内と考えられます。

※11月28日発表の「全日本的なダート競走の体系整備」につきましては、<https://jra.jp/news/202211/112802.html>をご覧ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G 1 クラークS~プロキシーがG 1 初制覇

現地11月25日にアメリカ・ケンタッキー州のチャーチルダウンズ競馬場で行われたG 1 クラークS(3歳上、ダート1800<sup>円</sup>)は、J. ロザリオ騎手の手綱で2番手でレースを進めたプロキシー(牡4歳、父タビット、M.スタイダム厩舎)が直線で逃げた1番人気のウエストウィルパワーを3/4馬身差かわして優勝。今年のケンタッキーダービー馬リッチストライクは後方のまま最下位6着に終わりました。勝ったプロキシーはゴドルフィン自家生産馬で、母バンティレードはG 1 アメリカンオークスとG 1 スピンスターSの勝ち馬。7月の前走G 2 スティーブンフォスターS 3着を含め、これまで重賞に7度挑戦して、3度の2着が最良の成績でしたが、G 1 初挑戦となったここでビッグタイトルを手に入れました。タビット産駒のG 1 勝ち馬はプロキシーで30頭目です。